

科目名 (科目番号)	内部障害 基礎理学療法学 (時間割参照)	教員名	高尾 敏文	学科等	理学療法	必修	履修年次	2
				曜日・時限等	時間割表参照		単位数	1
				授業形態	講義	オフィスアワー	別紙記載	
授業概要	呼吸器疾患，循環器疾患，代謝疾患，がんなどの疾病に起因する障害や，これら内部障害系疾患に対する理学療法の基礎的知識について学習する．							
目的・目標	目的：内部障害系理学療法の基礎となる考え方を理解する． 目標：内部障害系疾患に対する理学療法の基礎的知識を身に付け，概要を説明できる．							
準備学習	毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること。							
授 業 計 画	回	授業項目	到達目標・学習内容					
	1	総論	到達目標： 内部障害に対する理学療法の基礎知識を身に付ける． 学習内容： ・総論，授業概要説明． ・内部障害に対する理学療法の概要についての講義．					
	2	呼吸器障害の 理学療法の基礎	到達目標： 呼吸器疾患に起因する障害に対する理学療法を実施するための， 基礎知識を身に付ける． 学習内容： ・呼吸器疾患の基礎知識と主な障害についての講義． ・呼吸器障害に対する理学療法の概要についての講義．					
	3	循環器障害の 理学療法の基礎	到達目標： 循環器疾患に起因する障害に対する理学療法を実施するための， 基礎知識を身に付ける． 学習内容： ・循環器疾患（虚血性心疾患，心不全）の基礎知識と主な障害に についての講義． ・循環器障害に対する理学療法の概要についての講義．					
	4	周術期理学療法の基礎	到達目標： 周術期に起こり得る障害に対する理学療法を実施するための， 基礎知識を身に付ける． 学習内容： ・外科手術に伴う主な障害についての講義． ・外科手術前後における理学療法の概要についての講義．					
	5	がんの理学療法の基礎	・確認テスト及び解説（1～4回授業分） 到達目標： がんに起因する障害に対する理学療法を実施するための， 基礎知識を身に付ける． 学習内容： ・がんの基礎知識と主な障害についての講義． ・がん患者に対する理学療法の概要についての講義．					
	6	代謝障害の 理学療法の基礎	到達目標： 代謝疾患に起因する障害に対する理学療法を実施するための， 基礎知識を身に付ける． 学習内容： ・代謝疾患の基礎知識と主な障害についての講義． ・代謝障害に対する理学療法の概要についての講義．					
	7	理学療法士に求められる 臨床検査の基礎知識	到達目標： 基本的な臨床検査の項目について基礎知識を身に付ける． 学習内容： 理学療法実施に際し知っておくべき臨床検査についての講義．					
	8	総括	到達目標： これまでに学んだ知識を整理できる． 学習内容： 全体のまとめ．					
成績評価の 方法・基準	対面時 ： 確認テスト（50%） ＋ 期末試験（50%） オンライン時 ： 授業中に実施する確認テスト（100%）							
教科書	内部障害理学療法学			高橋哲也 編著		医歯薬出版		
参考図書	・リハに役立つ検査値の読み方・とらえ方 ・内科学 第5版			田屋雅信，松田雅弘 編 前田眞治 編集		羊土社 医学書院		
教員からの メッセージ	・一般病院で勤務した経験のある理学療法士がこの授業を担当します． ・オンライン授業に伴い授業計画に変更がある場合は，オンラインクラスで変更のシラバスを周知いたします．							